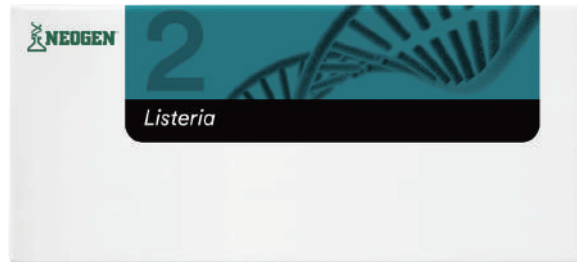


# 病原菌検出アッセイ2 リステリア属菌用

独自の検出テクノロジーをもちながら、よりシンプルな手順でリステリア属菌を検出、試験開始の翌日に判定が可能です。



AOAC  
OMA



AFNOR  
Validated  
Method

## 特長 1

ライシス液及び試薬の改良により、  
1回の選択増菌<sup>\*1</sup>を実現、迅速に試験を実施できます。

<sup>\*1</sup> 原乳及び未加工食肉は一次選択増菌培養の後、二次選択増菌を行います。

### 1 《一次選択増菌》



37 ± 1.0°C  
24 ~ 30時間

※ 各培養条件の詳細は取扱説明書をご覧ください。

### 1' 《二次選択増菌》

- 原乳
- 未加工食肉

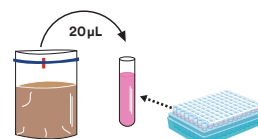
37 ± 1.0°C  
20 ~ 24時間

### 2



ライシスチューブを使用する前に  
室温に戻し転倒混和してください。

### 3



増菌培養後、ライシスチューブに  
20µL 移し替えます。

24 ~ 30時間

### 4

00:15:00

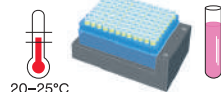


99 ~ 101°C

ライシスチューブを100 ± 1°C、  
15分間加熱します。

### 5

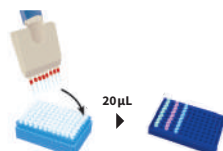
00:05:00



20 ~ 25°C

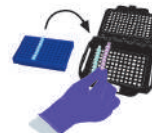
20 ~ 25°Cで  
5 ~ 10分間冷却します。

### 6



上澄みを試薬チューブに20µL 移し替え、  
ピペットで5回チューブ内の液を攪拌させます。  
付属のキャップでシールします。

### 7



スピードローダートレイに  
チューブを移し替えます。

### 8

最短15分で陽性判定

00:15:00



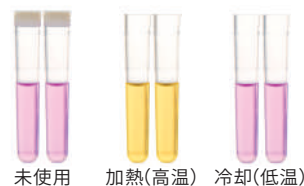
スピードローダートレイを機器  
にセットし、スタートさせます。

2時間以内

## 特長 2

色変化による目視確認や誤判定を防ぐテクノロジーで、  
よりシンプルな操作を実現します。

- ライシス液の加熱処理の状態が、試薬の色変化によって目視で確認できます。(低温:ピンク色、高温:黄色)
- 独自のテクノロジーによりライシス液の加熱時に試料中の夾雑物が自然に取り除かれ、誤判定を防ぎます。



未使用

加熱(高温)

冷却(低温)

加熱、冷却時は  
キャップ不要です。

# 病原菌検出アッセイ2 リステリア属菌用

## キット内容

- 1 試薬チューブ
- 2 ライシスチューブ
- 3 試薬チューブ用キャップ
- 4 陽性コントロール(8本/袋×2)

※陰性コントロールは含まれていません  
※陰性コントロールとして、滅菌済みのハーフ  
フレーザーブロスなどを使用します



※製品パッケージは予告なく変更する場合があります

## ご準備いただく培地

デミフレーザー ブロス



フレーザー ブロス サプリメント

培地をオートクレーブ後冷却してから添加します。  
(選択増菌培地1Lに1本(10mL)を添加)



## 試薬 培地

製品番号	製品名	サイズ・容量	保存条件
MDA2LIS96	病原菌検出アッセイ2 リステリア属菌用	96 ウェル/キット	2 ~ 8°C
MDMC96AP	マトリックスコントロール 病原菌自動検出システム用		
BP0118500	デミフレーザー ブロス	500g / ボトル	2 ~ 30°C
BP0220010	フレーザー ブロス サプリメント	100mL (10mL / 本 × 10)	2 ~ 8°C

NEOGENは、Neogen社の商標です。

ネオジェンジャパン株式会社

<https://www.neogen.jp/>

NEO-213-A(0624)e.

Please Recycle. Printed in Japan.  
© Neogen Corporation. All rights reserved.